



スキー場諸元

名称：丸沼高原スキー場

総面積	59 ha
コース数	11本
標高差	601 m (1,391 m-1,992 m)
最大斜度	34 度 (シルバー)
リフト総延長	6,423 m
リフト数	8 基
事業者	日本製紙総合開発(株)
開業時	十條興発(株) 現:日本製紙総合開発(株)



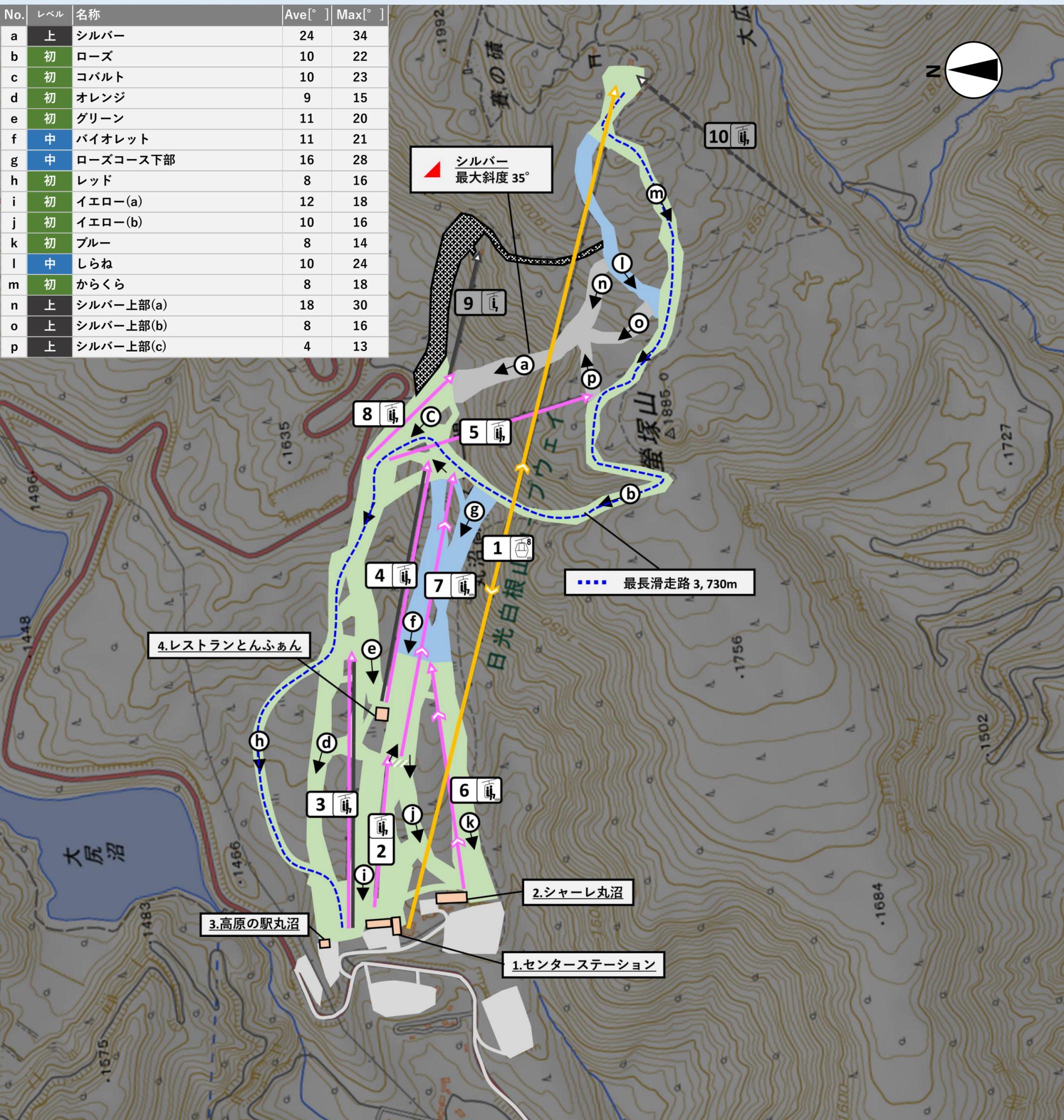
尾瀬エリア最奥のロングランゲレンデ

関越道沼田ICから下道40km約1時間と尾瀬エリア最奥に位置し、約4kmのロングランコースが楽しいスキー場。最高標高は約2000mもあり雪質が良く、標高の高さを実感できる針葉樹林など他の尾瀬エリアのスキー場とは違った雰囲気を感じることができる。施設は2017年に旧センターハウスに接続する形でセンターステーションが新築されたこともあり、どの施設も非常に綺麗に保たれている。ゲレンデ中腹にあるレストランとんふぁんはライブカメラで混雑状況を確認できるが、シーズンオフの真夏でもレストラン内の映像を垂れ流しており、その映像は薄暗くホラー感があり謎にシーズンオフでも視聴者がいるのが面白い。また、近年はおしゃれな雰囲気で推しているイメージがあり(個人の感想)若者中心に賑わっている。

かつては、ICSを導入し11月～5月間滑れるロングシーズンのスキー場であったが、近年は人工降雪機のみであり12月初旬～4月まで営業することが多い。シーズン開始は遅くなったもの今でも尾瀬エリアでは最も早くオープンするスキー場であり、オープン初日にはリフト券が当たるイベントやきのこ汁振る舞いイベントなどを実施している。コースは地形豊かであり、その中でもローズコースは自然なパイプ状の壁が多くありフリーランを楽しみつつ、アクティブな滑走がロングに楽しめ人気がある。

コースマップ

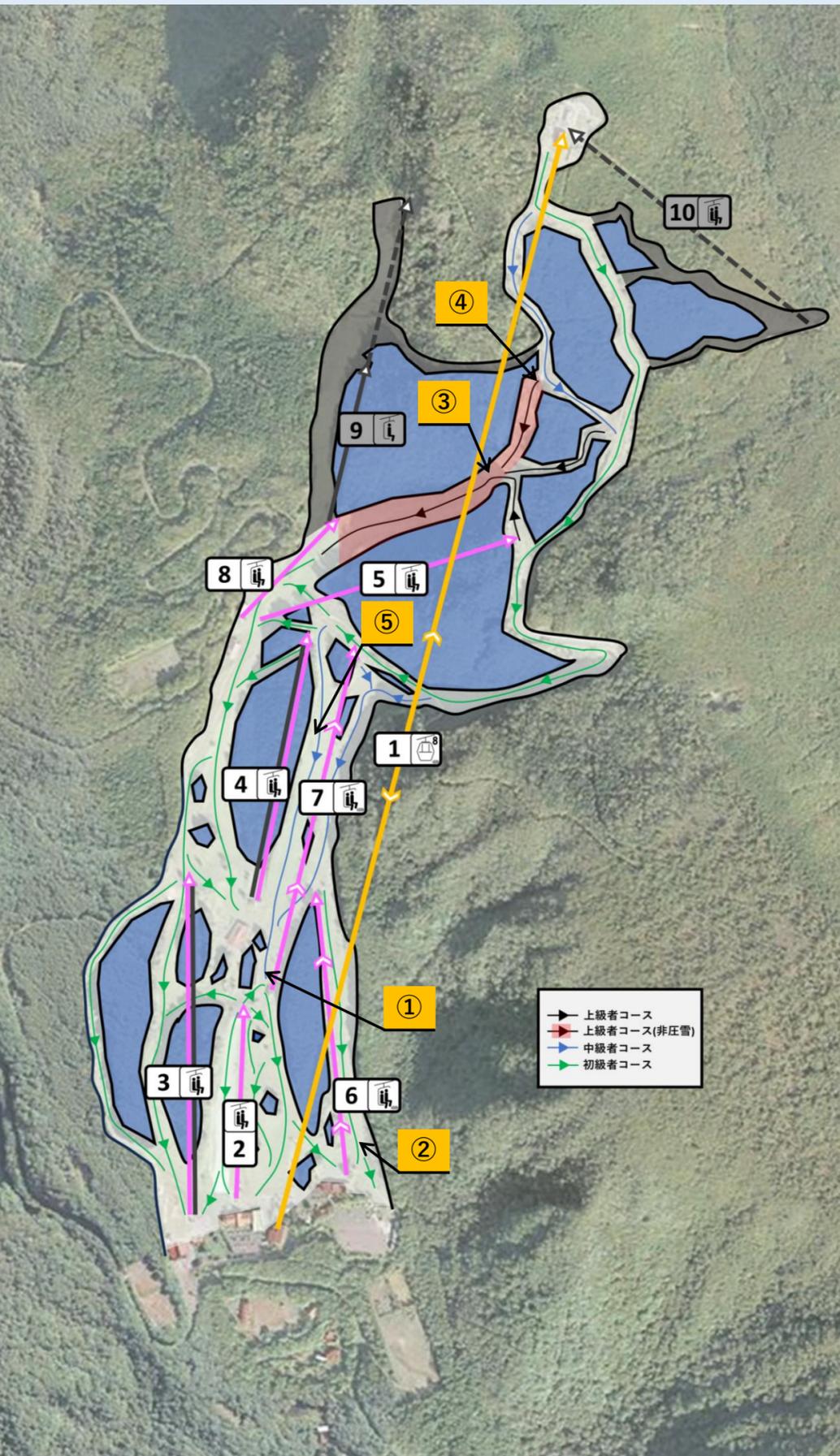
No.	レベル	名称	Ave[°]	Max[°]
a	上	シルバー	24	34
b	初	ローズ	10	22
c	初	コバルト	10	23
d	初	オレンジ	9	15
e	初	グリーン	11	20
f	中	バイオレット	11	21
g	中	ローズコース下部	16	28
h	初	レッド	8	16
i	初	イエロー(a)	12	18
j	初	イエロー(b)	10	16
k	初	ブルー	8	14
l	中	しらね	10	24
m	初	からくら	8	18
n	上	シルバー上部(a)	18	30
o	上	シルバー上部(b)	8	16
p	上	シルバー上部(c)	4	13



No.	定員	形式	フード	名称	キロ程[m]	キロ程グラフ	山麓標高[m]	山頂標高[m]	高低差[m]	高低差 グラフ
1	8	MGD	-	日光白根山ロープウェイ	2,493		1,390	1,992	602	
2	2	CLF	-	中央リフト	392		1,395	1,479	84	
3	2	CLF	-	第1リフトA線	712		1,383	1,503	120	
4	2	CLF	-	第2リフトB線	607		1,486	1,626	140	
5	2	CLF	-	第3リフト	578		1,600	1,837	237	
6	2	CLD	-	第4リフト	583		1,407	1,496	89	
7	2	CLD	-	第5リフト	742		1,471	1,640	169	
8	2	CLF	-	第8リフト	316		1,598	1,655	57	
9	1	CLF	-	▲第7リフト	145		1,653	1,767	114	
10	2	CLF	-	▲おおひろ	640		1,797	1,993	196	

■ : 連絡線 ▲赤字 : 休止中/廃止

コースマップ ~コース紹介~



▲①f:バイオレットコース (中級)



▲②k:ブルーコース (初級)



▲③a:シルバーコース (上級)



▲⑤f:バイオレットコース (中級)

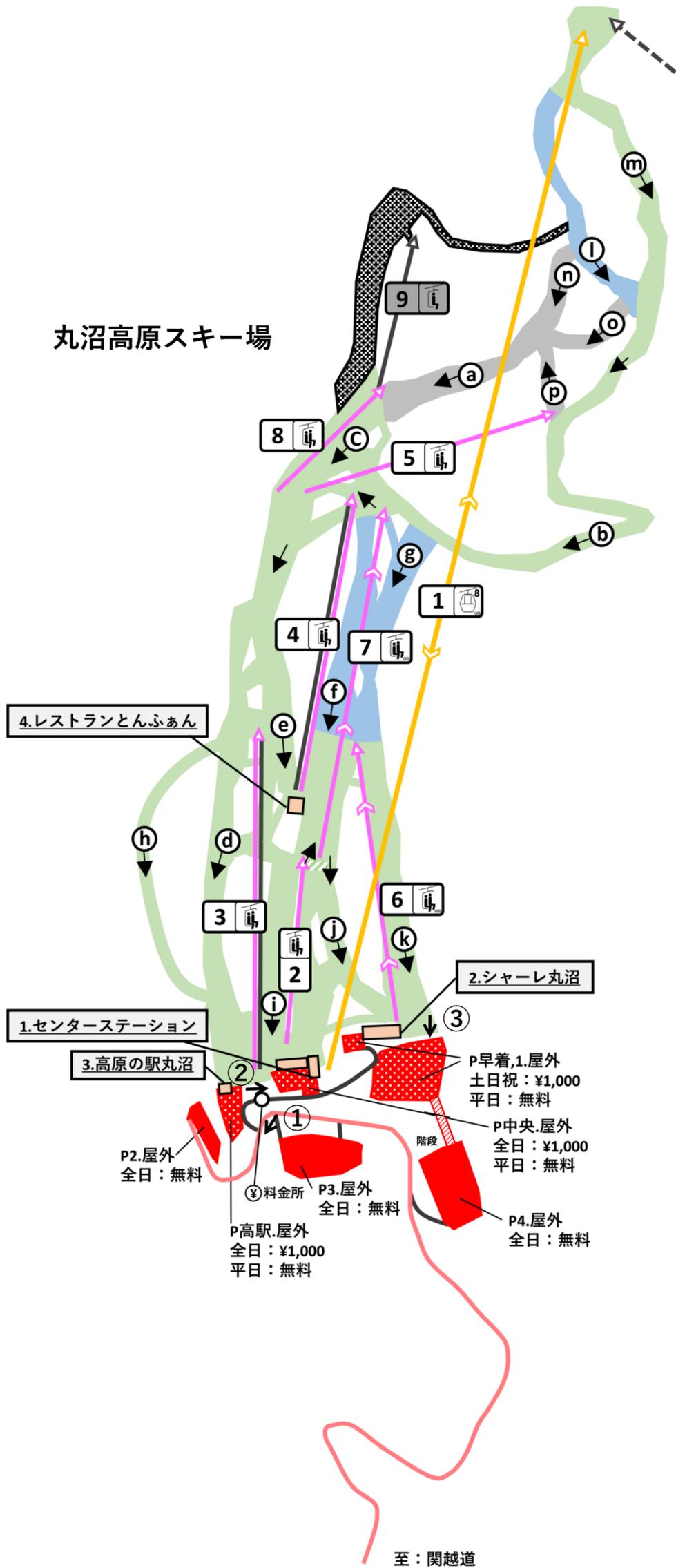
中央リフト山頂駅は第5リフト山麓駅より低くスムーズに乗り換えられる。第5リフト山麓駅よりゲレンデ下部にも降りられるように地形改良されているため、スムーズに降りれる。



▲④n:シルバーコース上部1 (上級)



丸沼高原スキー場



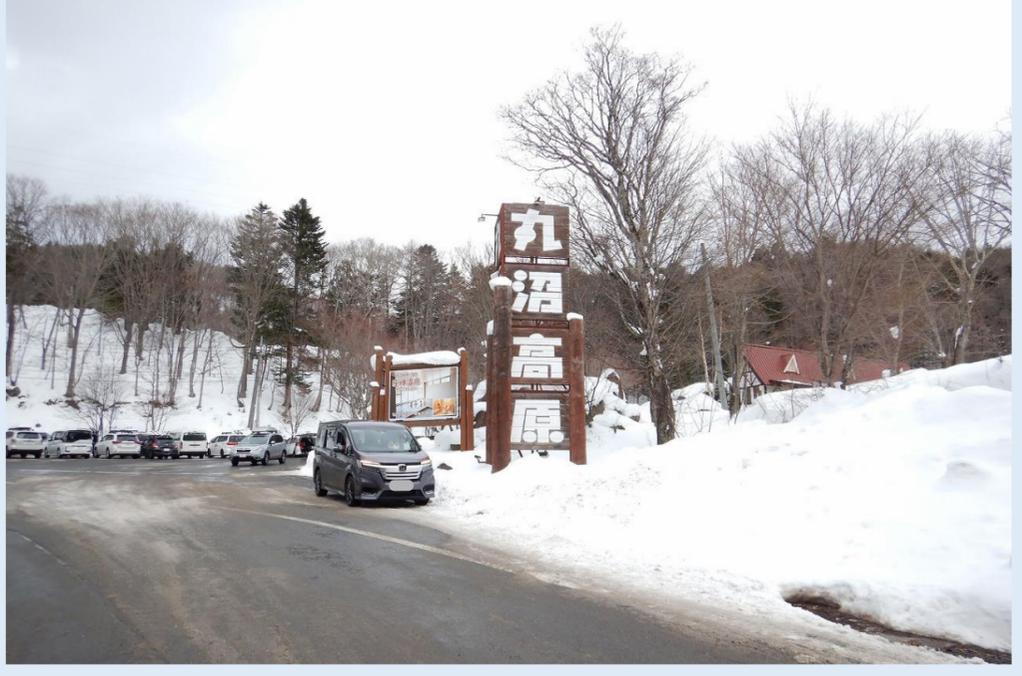
P早着,1,中央,高駅.屋外駐車場

時間(平日)	24時間 中央 7:00~17:00頃
(休日)	24時間 中央6:00~17:30頃
料金(平日)	無料
(休日)	¥1,000
収容台数	約700台

・P1：トイレ・更衣室は24時間開放

P2~4.屋外駐車場

時間(平日)	24時間
(休日)	24時間
料金(平日)	無料
(休日)	無料
収容台数	約500台



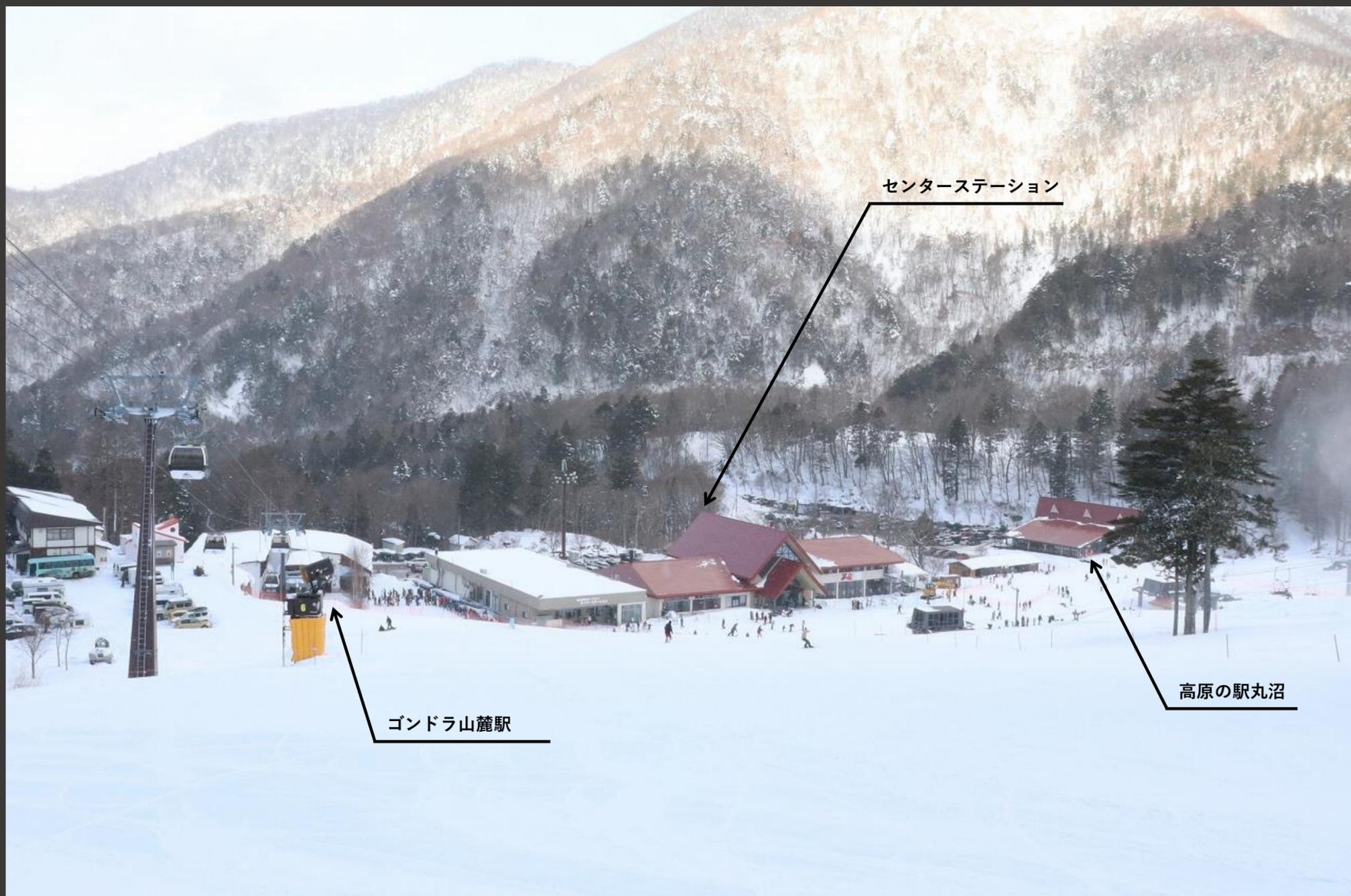
▲① スキー場入口

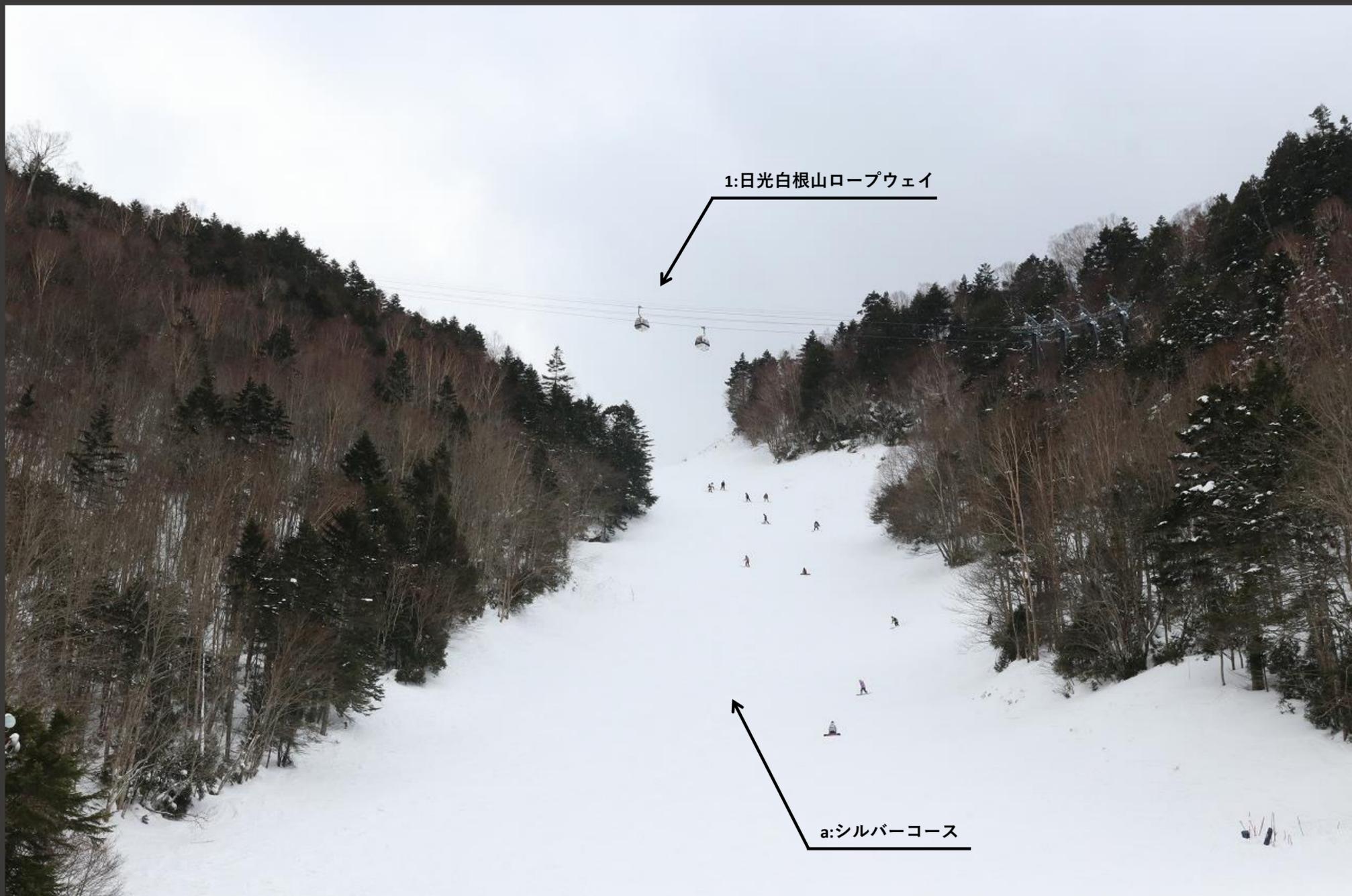


▲② 料金所



▲③ P1駐車場







8:第8リフト



7:第5リフト

レストランとんぶあん

丸沼高原リフト改変の歴史

丸沼高原は、1974年開業と歴史があるスキー場であるが、比較的施設が新しいこと、ゴンドラ建設が1998年と割と最近であることから、古さを感じさせず非常に魅力あるスキー場である。しかし、今の丸沼高原となるのには、かなりのリフトがリニューアルされており複雑なリフト改変史がある。

1974年開業時は、現在の第1、第2リフトと同位置にシングルリフト1本ずつ計2本で開業した。そこから10年もたたないうちに計9本ものリフトが建設され規模拡大がなされている。この期間のリフト建設で目を引くのはシュレップリフト(滑走式リフト)の建設である。このシュレップリフトは、現在の第8リフトの場所にかつて存在し、メーカーは日本ケーブル製であった。同社製のシュレップリフトの中で2番目に建設されたものであったが、1986年に現在のペアリフトに架け替えられている(初号機は岩手県山口スキー場)。

1989年には第4シングルリフトより第4スーパーツインリフト、1999年には第5シングルリフトより第5スーパーツインリフトの高速ペアに架け替えられ速達性が向上した。

1998年には、大規模な上部ゲレンデ拡張が行われ丸沼高原ゴンドラ(日光白根山ロープウェー)、しらねリフト、おおひろリフトが建設された。しらね・おおひろの両リフトは、丸沼高原では珍しく安全索道製のリフトであったが、2013年頃には両リフトともに廃止され、現在しらねリフトはリフト小屋を残すのみで跡形もなく撤去されている。一方、おおひろリフトは支柱のみ残っており山麓山頂停留場は撤去済みである。

また、しらねリフトに関しては、10年も運行していないと考えられ、新しいリフトながらも幻のリフトとなってしまった。



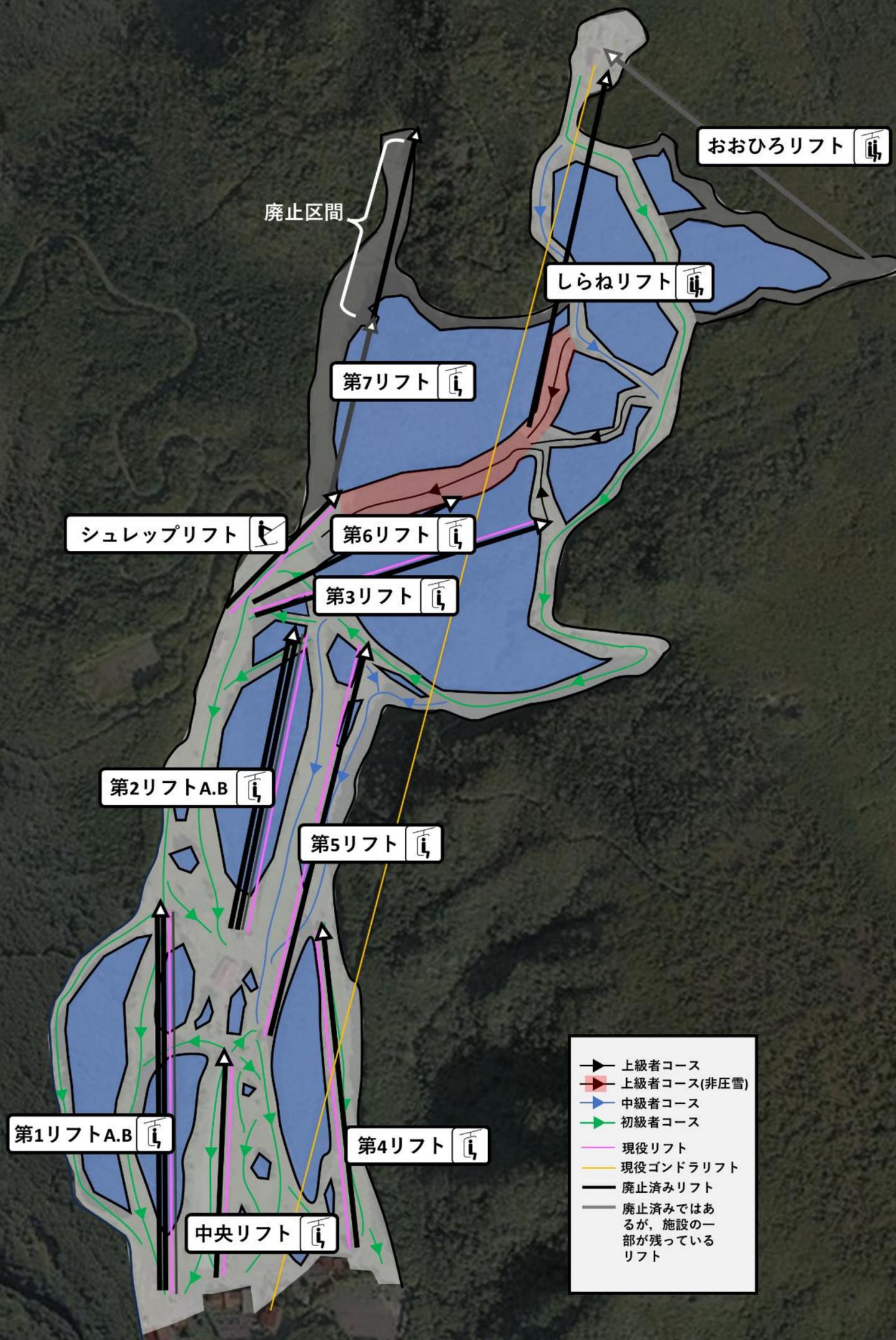
▲1998年建設のゴンドラ



▲リフト監視室のみ残るしらねリフト

▼リフト建設表

定員	形式	フード	名称	キロ程[m]	運行年	1974	1974~	1980~	1985~	1990~	1995~	2000~	2005~	2010~	2015~	2020~	2025~	備考
1	CLF	-	第1リフト	712	1974~1987?		■											第1(ペア)に架け替え
1	CLF	-	第1リフトB	719	1979~1987?			■										第1(ペア)に架け替え
2	CLF	-	第1リフトA.B	712	1987?~				■									
1	CLF	-	第2リフト	603	1974~1987		■											第2(ペア)に架け替え
1	CLF	-	第2リフトB	602	1976~1987			■										第2(ペア)に架け替え
2	CLF	-	第2リフトA.B	607	1987~				■									
1	CLF	-	第3リフト	557	1976~1987		■											第3(ペア)に架け替え
2	CLF	-	第3リフト	578	1987~				■									
1	CLF	-	第4リフト	649	1976~1989		■											第4(高速ペア)に架け替え
2	CLD	-	第4(スーパーツイン)リフト	583	1989~				■									
1	CLF	-	第5リフト	768	1983~1990			■										第5(高速ペア)に架け替え
2	CLD	-	第5(スーパーツイン)リフト	742	1990~				■									
1	CLF	-	第6リフト	340	1984~2005?				■									廃止
1	CLF	-	第7リフト	706	1985~2023				■									休止(1998年にリフト短縮)
1	SL	-	シュレップリフト	349	1975~1986		■											第8(ペア)に架け替え
2	CLF	-	第8リフト	316	1986~				■									
1	CLF	-	中央リフト	399	1978~1990?			■										中央(ペア)に架け替え
2	CLF	-	中央リフト	392	1990?~				■									
2	CLF	-	しらねリフト	661	1998~2005?						■							廃止(安全索道)
2	CLF	-	おおひろリフト	640	1998~2013						■							廃止(安全索道)
8	MGD	-	丸沼高原ゴンドラ	2,493	1998~							■						廃止(村営)



1.日光白根山ロープウェイ



丸沼高原ゴンドラ

線路傾斜こう長	2492.80 m
最大高低差	601.70 m
運 転 速 度	毎秒 5.0 m
原 動 機	560 kw
乗 車 定 員	8 人
毎 時 輸 送 量	1800 人
竣 工	平成 10 年 11 月

事 業 者 **日本製紙総合開発株式会社**
 設計、施工 **日本ケーブル株式会社**

線路諸元

名称：丸沼高原ゴンドラ

通称：日光白根山ロープウェイ

方式	単線自動循環式普通索道
傾斜長	2,493 m
高低差	602 m
輸送能力	1,800 p/h
回転方向	反時計
支柱数	22 基
速度	5.0 m/s
定員	8 名
搬器	OMEGA fl(CWA)
原動出力	560 kW(280kW × 2)
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山頂
事業許可年月	1998年2月
運行開始年月	1999年1月
メーカー	日本ケーブル

1998年建設の新しいゴンドラ

1999年1月1日より運行開始した、8人乗りの単線自動循環式普通索道。通称は、日光白根山ロープウェイであるが、ロープウェイではなくゴンドラである。1997年スキー場開業時は十条製紙関連会社が索道事業者であったが、十条製紙の合併により1996年にはエヌビー総合開発、2003年には現在の索道事業者である日本製紙総合開発となっており、ゴンドラ銘板の事業者欄も修正させている。



1.日光白根山ロープウェイ



搬器諸元

名称：丸沼高原ゴンドラ

定員 8名

台数 69台

自重 545kg

メーカー CWA

タイプ OMEGA "fl" 8-PI.

製造年月 1998年11月

握索機 DT

▼晴天時はゴンドラの先に日光白根山が間近に見える



1.日光白根山ロープウェイ

山麓停留所



1.日光白根山ロープウェイ

山麓停留所



1.日光白根山ロープウェイ

山頂停留所

▼赤い屋根が特徴的



1.日光白根山ロープウェイ

山頂停留所



1.日光白根山ロープウェイ



1.日光白根山ロープウェイ



2.中央リフト



▼山麓停留所



▼山頂停留所



線路諸元

名称：中央リフト

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	392 m
高低差	84 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	時計
支柱数	10 基
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1978年9月
運行開始年月	1990年?
メーカー	日本ケーブル

2.中央リフト



3.第1リフト

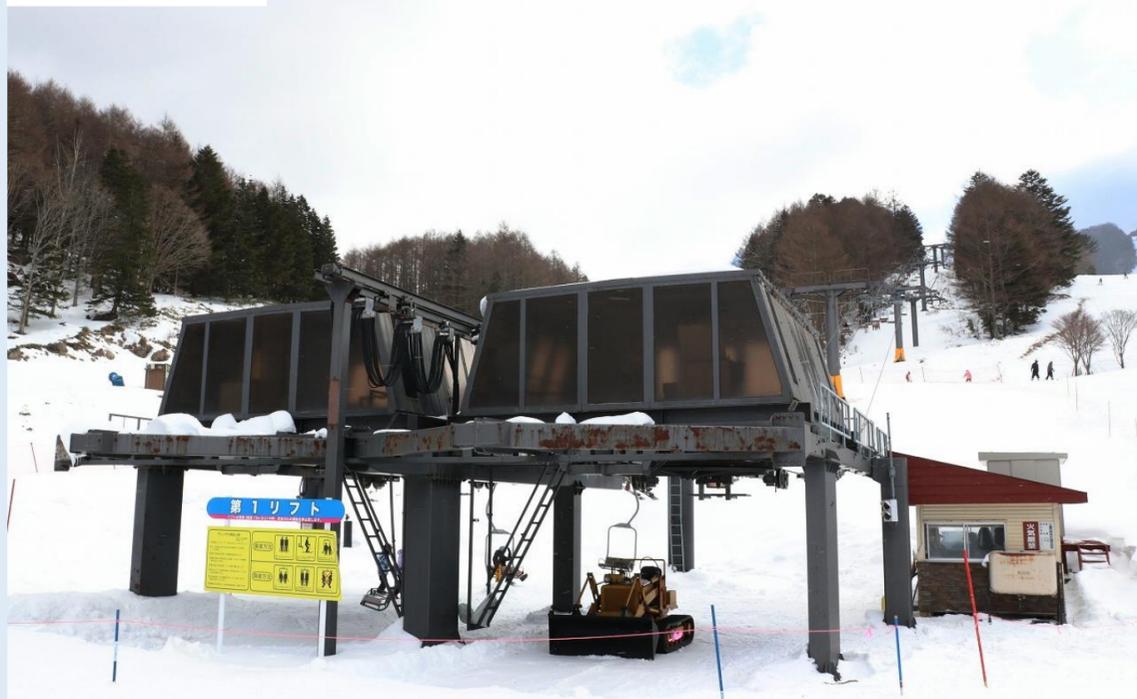


線路諸元

名称：第1リフトA線

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	712 m
高低差	120 m
輸送能力	A:1,200 p/h, B:1,200 p/h
回転方向	A:時計,B:反時計
支柱数	14 基(パラレル式)
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1974年11月
運行開始年月	1987年?
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所



3.第1リフト



A線は休止中

4.第2リフト



線路諸元

名称：第2リフトB線

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	607 m
高低差	140 m
輸送能力	A:1,200 p/h, B:1,200 p/h
回転方向	A:時計, B:反時計
支柱数	16 基(パラレル式)
速度	2.0 m/s
定員	2 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1987年9月
運行開始年月	1987年12月
メーカー	日本ケーブル

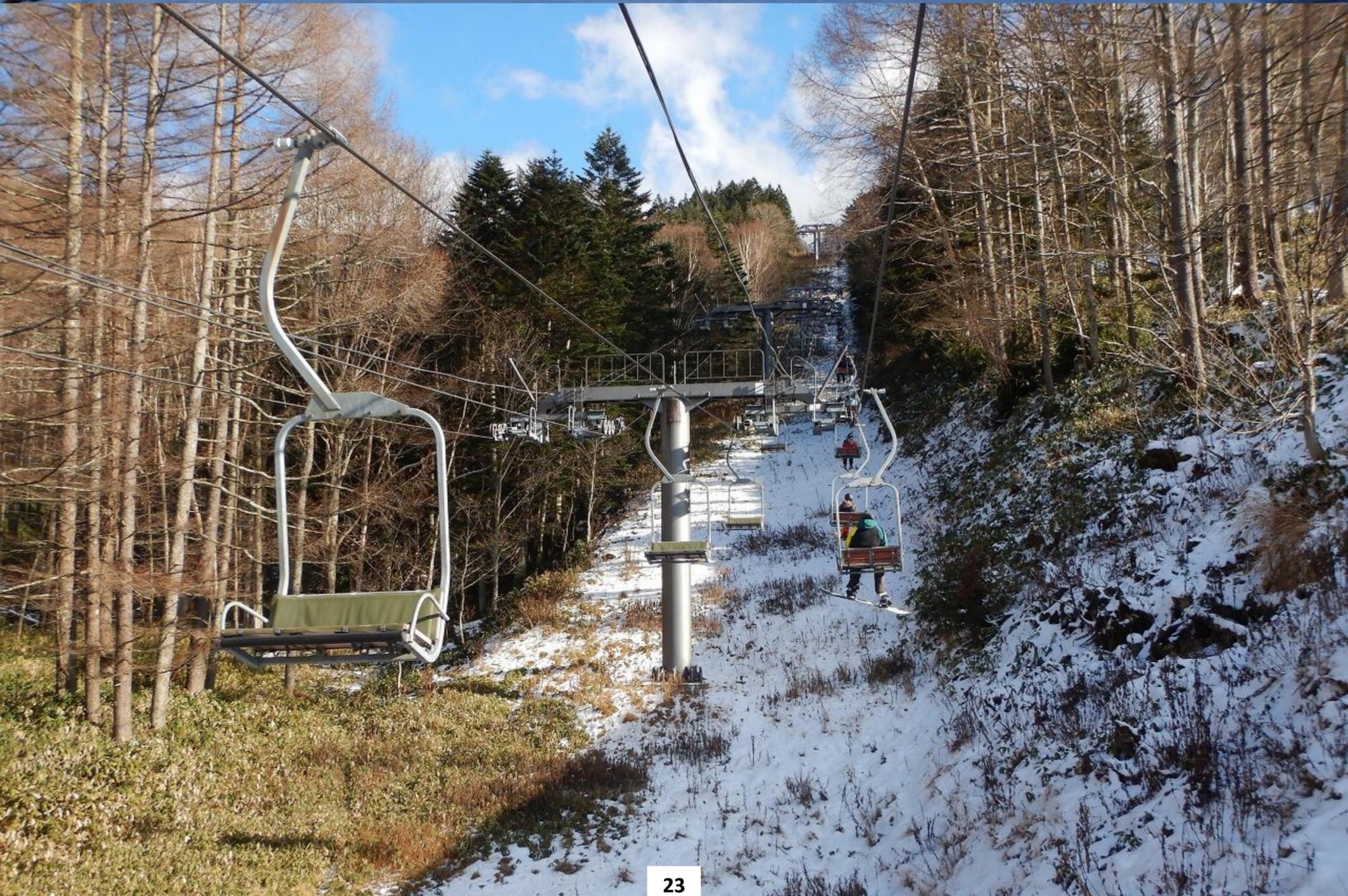
▼山麓停留所



▼山頂停留所



4.第2リフト



5.第3リフト



線路諸元

名称：第3ペア

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	578 m
高低差	237 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	14 基
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	モデルE
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山麓
事業許可年月	1973年10月
運行開始年月	1987年12月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼丸沼高原でしか見られない原動油圧緊張装置

▲丸沼高原でしか見られない原動油圧緊張装置

▼山頂停留所



5.第3リフト



▲ゴンドラとリフトの交差

交差部の支柱アームは干渉しないように低めに設計されている

6.第4リフト



線路諸元

名称：丸沼高原第4スーパーツインリフト

方式	単線自動循環式特殊索道
傾斜長	583 m
高低差	89 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	9 基
速度	4.0 m/s
定員	2 名
搬器	モデルE
原動出力	110 kW
緊張方式	油圧
原動位置	山麓
緊張位置	山頂
事業許可年月	1975年12月
運行開始年月	1989年11月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所



6.第4リフト



7.第5リフト



線路諸元

名称：丸沼高原第5スーパーツインリフト

方式	単線自動循環式特殊索道
傾斜長	742m
高低差	169 m
輸送能力	1,440 p/h
回転方向	反時計
支柱数	14 基
速度	4.0 m/s
定員	2 名
搬器	モデルE
原動出力	185 kW
緊張方式	油圧
原動位置	山頂
緊張位置	山麓
事業許可年月	1982年9月
運行開始年月	1990年11月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所



7.第5リフト



7.第5リフト



2:中央リフト山頂線



6:第4リフト山頂線

7.第5リフト



▲山麓山頂駅に車庫線はなく簡易的な機械カバータイプ

8.第8リフト



線路諸元

名称：第8リフト

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	316 m
高低差	57 m
輸送能力	1,200 p/h
回転方向	反時計
支柱数	7 基
速度	? m/s
定員	2 名
搬器	旧型
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山頂
緊張位置	山麓
事業許可年月	1986年9月
運行開始年月	1986年12月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所

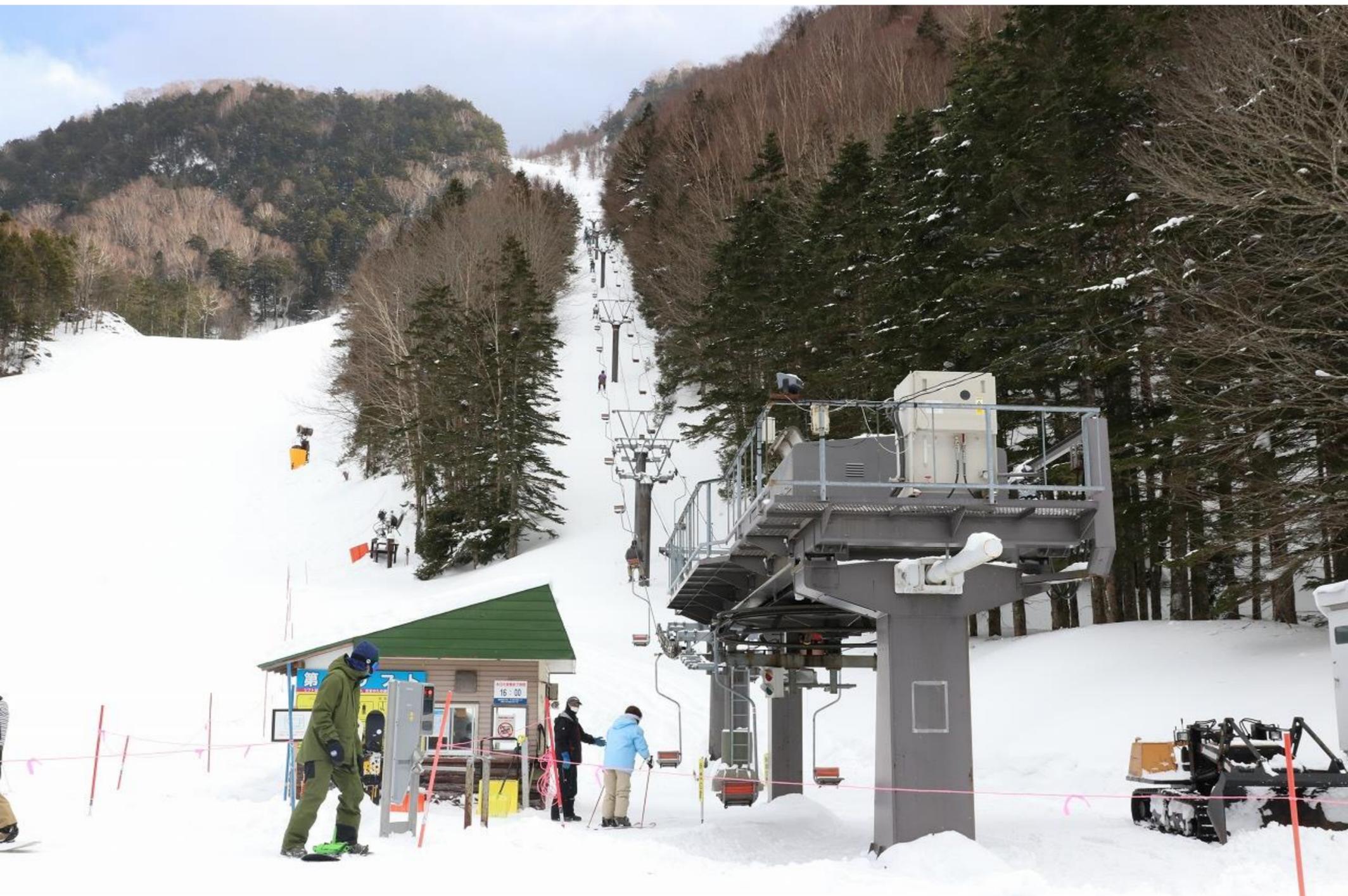


8.第8リフト



スノーパーク

9.第7リフト(休止)



線路諸元

名称：第7リフト

方式	単線固定循環式特殊索道
傾斜長	145 m
高低差	114 m
輸送能力	900 p/h
回転方向	時計
支柱数	7 基
速度	? m/s
定員	1 名
搬器	-
原動出力	? kW
緊張方式	油圧
原動位置	山頂
緊張位置	山麓
事業許可年月	1984年8月
運行開始年月	1985年12月
メーカー	日本ケーブル

▼山麓停留所



▼山頂停留所



9.第7リフト(休止)

▼1998年にリフトが短縮された。(ゴールドコース上部廃止)

現在の山頂駅は、短縮前の中間停留所。



▲現在は滑走できないゴールドコース

9.第7リフト(休止)

